

# 令和7年度（2025年度）石見さくら会居宅介護支援事業所拠点事業報告

## 1. 事業総括

要介護状態又は要支援状態にある高齢者自らの意思を尊重し、その有する能力を最大限に活かし、住み慣れたご自宅で可能な限り自立した質の高い生活を営むことができるよう支援致しました。

状態の悪化を予防できるよう医療・福祉の関係機関と連携し、公平・中立の立場で地域に根ざした総合的な支援を行いました。

## 2. 事業目標に対する評価

### (1) 利用者サービスの充実

利用者一人ひとりの尊厳や希望を反映したサービス計画を作成し、また途中の状況変化に対する見直しを行い適切なサービス提供に努め、休日時の連絡にも出来る限り対応し、緊急のサービス提供が必要となったケースに対しても円滑に提供ができるよう調整に努めました。

### (2) 地域社会との関係性強化

地域ケア会議に於いて医療機関・地域包括支援センター・社会福祉協議会・ケアマネ・サービス提供事業所が、専門職の立場から情報提供を行い、定期的に利用者個々の課題から地域課題を見つけ解決に向けた検討を行いました。今後は家族関係も踏まえて検討すべきケースが増えると予測されるため、より一層の地域連携が重要となると考えます。

### (3) 生産性の向上

	指標名	指標値	実績
KGI (最重要目標指標)	計画稼働率	—	—
	計画職員充足率	100%	100%
	人時生産性	—	—
	労働生産性	—	—

## 3. 計画事業の総括

### (1) サービスの取組み

要介護状態又は要支援状態にある高齢者が、可能な限りご自宅に於いて、その能力に応じて、自立した日常生活を営むことができるよう配慮し支援を行いました。

要介護状態又は要支援状態にある高齢者の選択により、心身の状況や、その置かれている環境等に応じた適切な保健医療サービス及び福祉サービス、施設サービス等、多様な事業所との連携により、総合的かつ効果的な介護計画の提供ができるよう努めました。

要介護状態又は要支援状態にある高齢者の意思及び人格を尊重し常に利用者の立場に立ち、サービス等が特定の種類又は特定のサービス事業者に偏ることがないよう公平、中立の立場を保ち、また要介護認定等に関する申請に対し、本人等の意思を踏まえ必要な支援及び協力を行い、保険者から介護認定調査の委託を受けた場合も公平な調査を行うと共に知識を深めるための研鑽に努めました。

## (2) 人財育成への取組み

計画に沿った施設内研修を行いました。また事業所外研修は資格更新に係る研修と専門職としての知識、技術習得のための研修を受講しスキルアップを図りました。

## (3) 地域との関係強化への取組み

地域ケア会議等に積極的に参加し、利用者個々のケースを通して医療機関や地域包括支援センターと共に地域課題の解決策について検討を行いました。

## (4) 生産性向上への取組み

計画的かつ効率よくモニタリング訪問を行い、利用者様一人ひとりの在宅生活がその方らしく継続して行えるよう取組みました。

## (5) 施設整備への取組み

ケアプランデータ連携システムなどの情報共有ツールの利用について、他事業所の動向や情報収集を図りながら調整に努めましたが運用には至りませんでした。令和8年度から運用する予定です。

令和7年度に実施した個別の事業の詳細及び成果等は以下の通りです。

### サービス事業

#### 1. 利用者（入所者）状況

##### (1) 利用率・稼働率

(単位：人)

	登録定員数	年間平均数		利用率
		計画数	請求実績	
介護予防	29	30	19	63%
要介護	73	60	76	126%
計	102	90	95	105%

今年度における新規登録数は27件で、施設入所等による利用終了数は23件となり介護予防者数は計画数を下回ったものの要介護者数は計画数を大きく上回る利用があったことから、年間平均の保険請求実績は95件となりました。

##### (2) 利用者構成状況

(単位：人)

介護度別	計画数		請求実績平均		年度平均構成割合	
	延べ	年度末	延べ	年度末	延べ	実績
介護予防	360	30	228	19	20%	20%
要介護1・2	540	45	648	54	57%	57%
要介護3～5	180	15	264	22	23%	23%
計	1080	90	1140	95	100%	100%

計画数を上回る実績となりました。今後も医療機関や地域包括支援センターとの連携、民生委員の方々との情報共有を深めサービスの提供に努めていきたいと考えております。

## 2. 実施サービス

### (1) 介護保険関係サービス

実施項目	質の高いケアマネジメントの実施
成果・評価	心身状況に応じて在宅生活が継続できる支援に努め、自立支援の観点から要介護度が悪化しないよう担当者会議等を実施し、介護計画に反映させるように努め、目標値を上回ることができました。
KPI	維持・改善率 70% (年間平均)
KPI 実績	維持・改善率 86%

実施項目	健康状態の安定
成果・評価	サービス提供事業所と連携を図り健康状態の維持に努め、入院率を目標値である 2%以内に抑えることができました。
KPI	入院率 2%以内 (年間平均)
KPI 実績	入院率 1.2%

実施項目	医療機関との情報連携
成果・評価	ケアプラン作成及び更新時期に於いて、利用者の通院時に同席させていただく等、生活環境面に必要な情報収集を行い作成に反映させることに努めました。
KPI	—
KPI 実績	—

実施項目	医療機関との情報連携
成果・評価	入退院時に、医療機関へ対し入院前の情報や退院後の様子などの情報交換を密に行い、生活面への不安解消と在宅生活継続の支援を積極的に行いました。
KPI	加算取得率 100%
KPI 実績	入院時連携加算 31 件(100%)、退院時連携加算 32 件(100%)

### (2) 介護保険外サービス

実績はありません。

## 3. 人員体制の状況 (常勤換算)

(単位:人)

役職名	計画		実績		差異	
	正職	非正職	正職	非正職	正職	非正職
所長	1 (0.1)		1 (0.1)			
主任介護支援員 (管理者)	1 (0.3)		1 (0.3)			
介護支援専門員	1 (1.7)		1 (1.7)			
計	3 (2.1)		3 (2.1)		±0	

## 人財育成事業

### (1) 事業所内研修

○法令順守研修
---------

全職員対象 全員参加
○認知症研修
全職員対象 全員参加
○感染症・食中毒防止研修
全職員対象 全員参加
○個人情報に関する研修
全職員対象 全員参加
○ハラスメント研修
全職員対象 全員参加
○虐待防止・身体拘束に関する研修
全職員対象 全員参加
○業務継続計画（災害・感染症）研修
全職員対象 災害2名・感染症全員参加

(2) 事業所外研修

○生涯研修（チームリーダーコース）
全職員対象 1名参加
○総会研修（オンライン）
係長以上対象 1名参加
○看取り研修（オンライン）
全職員対象 1名参加
○介護支援専門員更新研修
対象職員 1名参加
○介護支援専門員協会研修（オンライン）
全職員対象 1名参加
○認定調査員現任研修（オンライン）
全職員対象 2名参加
○対人援助研修
全職員対象 2名参加
○難病医療等従事者研修
全職員対象、1名参加

地域との関係強化への取組み

実施事項	地域ケア会議
成果・評価	定期会議に積極的に参加し、事例を通して地域課題の抽出や解決策を探ることで関係機関との連携を強化することができました。

生産性向上への取組み

(1) 新規加算取得への取組み

取得計画
・ターミナルケアマネジメント加算
<評価>
対象者がいなかったため算定の実績はありません。

(2) 業務改善の取組み

訪問時の面談内容作成機器を導入し、その内容を PC 内データへ反映させることで効率化を図り業務改善に繋げることができました。

### 施設整備事業

実施事項	公用車両の更新
実施内容	老朽化により買替えを行いました。

### 積立の状況

(単位：千円)

計画	実績	取崩
0	885	0

### 感染症・災害への対応への取組み

事業継続計画(BCP)について机上訓練実施による見直しを行い、また邑南町で作成された各地区の防災マップを基に、災害発生の危険がある利用者宅の避難場所と家族構成について再確認を行い安否確認方法の手順についても検討しました。

## 4. 苦情解決（要望含む）の結果について

令和7年度において、以下の苦情が寄せられ解決を図りました。

### 苦情事例【1】

発生日	令和7年5月12日
申立人	利用者様の妹
苦情内容・要望	<input type="checkbox"/> サービスの質 <input type="checkbox"/> 従事者の態度 <input type="checkbox"/> 管理者等の対応 <input type="checkbox"/> 説明・情報の不足 <input type="checkbox"/> 具体的な被害・損害 <input type="checkbox"/> 契約・ 手続関係 <input checked="" type="checkbox"/> その他（他事業所へ） 妹様より「ショート利用中にトイレに行こうとして転倒した際、前歯を2本折った為、今後歯科受診をする必要がある。事故当日は施設職員が連れて行ってくれたが、施設側から今後は毎回受診の付き添いができないため受診対応をお願いされた。そもそも転倒する危険があったのに見守り対応が不十分だったのではないか。」との連絡を受ける。
処理結果	該当施設へ連絡し事故内容について説明を受ける。「現在は抜歯後の治療が終了しており、今後は義歯を作成するための受診が必要である。ショート利用期間中に義歯作成終了は難しいことをお伝えし、妹様へはその後の受診対応については了承を得ている。また見守りが不十分なのは、とのことだが事故状況は報告しておりご理解されている。」とのこと。 妹様へ再度連絡し、施設職員からの事故報告内容及び受診付添いの件について承諾されていることを確認した。不満を聞いてほしいため連絡されたものと受け止めた。
第三者委員の関与	解決結果を報告済

## 苦情事例【2】

発生日	令和7年8月4日
申立人	利用者様の息子
苦情内容・要望	<input type="checkbox"/> サービスの質 <input type="checkbox"/> 従事者の態度 <input type="checkbox"/> 管理者等の対応 <input checked="" type="checkbox"/> 説明・情報の不足 <input type="checkbox"/> 具体的な被害・損害 <input type="checkbox"/> 契約・手続関係 <input type="checkbox"/> その他  希望の郷の閉所に関する説明に来ておらず連絡もない。本人は早く今後のサービスについて決めないといけなと言っている。どこに何があるのかわからない状態で今後のサービスについて考えることはできない。本人だけで考えるのも難しい面がある。
処理結果	6月27日にご本人宅へ事業所長と共に訪問し、閉所に関する説明させていただいていたが、息子様への連絡をしていなかったことを謝罪する。今後のサービス利用についてのお考え、ご希望を早く連絡いただきたいと事業所側としては求めていることもお伝えする。改めて息子様へ説明するため日程調整を行ない(8/6)、希望の郷所長と共に息子様宅へ伺って、今後についての説明を行い了承いただいた。
第三者委員の関与	解決結果を報告済

以上

## 令和7年度（2025年度）ファミリー・サポート・センター拠点事業報告 ＜石見さくら会さくらんぼクラブ＞

### 1. 事業総括

ファミリー・サポート・センター「石見さくら会さくらんぼクラブ」は、子育て支援センターを拠点とし、子育て支援団体・各機関と連携を図り、地域の子育て家庭が安心して子育てできるよう支援に努めました。

### 2. 事業目標に対する評価

おねがい会員 26 名を計画とし活動を実施いたしました。3 名の新たな入会により会員数が 29 名となり、計画を上回りました。

### 3. 計画事業の総括

#### (1) サービス事業への取組み

地域の子育て家庭を対象に、子育て負担の軽減に寄与する為、さくらんぼクラブ事業の周知に努めました。まかせて会員とおねがい会員相互が、ファミリーサポート事業に参加して、子育て家庭が安心して子育てや仕事ができるネットワーク作りに取り組みました。

#### (2) 人財育成への取組み

行政と連携して研修会を開催し、会員の専門的な知識の向上を図りました。県主催のアドバイザー専門研修会では援助活動の目的や活動内容の確認、実施要項の改正について学びました。町主催のファミリーサポート講習は、職員とまかせて会員が 5 名参加、同じく町主催の専門研修では、まかせて会員が 3 名参加し情報収集や専門知識を身につけることが出来ました。

#### (3) 地域との関係強化への取組み

まかせて会員・おねがい会員とその子どもが一堂に会して交流する機会を設けました。わらべうた遊びを通して楽しい交流や意見交換会により、会員同士の親睦や交流を深めることができました。

令和7年度に実施した個別の事業の詳細及び成果等は以下の通りです。

## サービス事業

### 1. 会員登録状況

会員	計画数	実績	差異
おねがい会員	26名	29名	+3名
まかせて会員	16名	17名	+1名
どっちも会員	1名	1名	±0

### 2. 実施サービス

#### サービス事業

計画上の事業及び実施した内容・成果等
<p>事業の周知及び会員募集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めに各保育所の保護者総会に於いて、事業説明と会員募集のチラシ配布等により周知に努めました。また、児童クラブ・小学校・在宅親子・子育てサークルや専門機関と連携して、さくらんぼクラブの活動について説明させていただきチラシ配布の依頼を行いました。</li> <li>・子育て支援センターのすくすく便りや石見さくら会の広報誌に、活動内容の掲載をして事業の周知を図りました。</li> </ul> <p>信頼関係の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員の交流会を計画し実施いたしました。交流会では、まかせて会員とおねがい会員の参加が多数あり、わらべうた遊びを通して楽しい交流会となり、リラックスして思いを伝え合いながら会員同士の親睦を深めることが出来ました。</li> </ul> <p>人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・邑南町が主催するファミリーサポート講習会に職員とまかせて会員が参加しました。救急法について学び、緊急時の救急の仕方を共に学ぶことができました。</li> </ul> <p>助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おねがい会員の利用料半額助成を実施し子育て家庭の負担軽減を図りました。</li> <li>・自動車保険を導入し、まかせて会員に安心して送迎していただくことが出来ました。</li> </ul>

### 3. 人員体制の状況

アドバイザーは子育て支援センター職員が兼務しております。

## 人財育成事業

### 事業所外研修

県主催アドバイザー専門研修「ファミリーサポートセンター事業の制度改正及び困
---------------------------------------

難事例の対応について
保育士対象、1名参加
ファミリーサポート講習会「救急法について」
まかせて会員対象、5名参加
町主催会員専門研修「児童虐待について」
まかせて会員対象、3名参加

以上